

# 東京の文化財

東京都教育庁地域教育支援部管理課

都指定有形文化財(建造物)  
旧島津公爵家祖ヶ崎本邸洋館  
外観(全景)

## 目次

- 東京都指定文化財の新指定等 ……1~3
- 旧前田侯爵邸駒場本邸洋館洋館の  
ボランティアガイド ……4~5
- わがまちの文化財(奥多摩町) ……6
- わがまちの文化財(小笠原村) ……7
- 東日本大震災に伴う  
東京都の文化財被害状況について ……8

## 東京都指定文化財の新指定等

東京都教育委員会では、東京都文化財保護審議会(会長 谷川章雄)から答申を受け、平成23年度の東京都指定文化財の新指定など6件について決定し、3月21日に告示しました。今回の「東京の文化財」では、新しく指定した文化財等について御紹介します。

### I 新たに指定するもの

#### 東京都指定有形文化財(建造物)

旧島津公爵家祖ヶ崎本邸洋館(清泉女子大学本館)

所在地:品川区東五反田三丁目191番地39

所有者:学校法人清泉女子大学

旧鹿兒島藩主であり、公爵であった島津家の邸宅として、大正6年に完成しました。



本邸洋館外観(南面)



1階 玄関ホール・大階段

日本近代建築史に足跡を残したジョサイア・コンドルの設計による作品で、古典様式を基調とした優れた意匠を持ちます。

円弧状に張り出し、見事な列柱廊を持つバルコニーや、当時流行した白タイルを用いた外装

が特徴で、ステンドグラスをはじめ暖炉や天井の繊細な彫刻などが良好に保存されています。

また、関東大震災以前の近代建築として貴重です。



1階 旧大客室

### 東京都指定無形民俗文化財（風俗慣習）

#### 富賀神社の巡り神輿

主な伝承地：三宅島内全土

保持団体：富賀神社巡り神輿保存会

三宅村阿古に所在する富賀神社の例大祭で、2年に一度8月4日から9日まで行われる三宅島最大の祭礼行事です。



巡り神輿 阿古地区巡行



巡り神輿 受渡場（神着→坪田）

神輿の渡御という伝統的な祭礼形式を継承しつつ、神輿が島内旧5か村で順次受け渡され、それぞれの鎮守に1泊しながら島内を巡行する祭礼行事で、全国でも極めて特異な形態を維持しています。

### 東京都指定史跡

#### 鈴木遺跡

所在地：小平市鈴木町一丁目 450 番地 8 及び 9、  
同 487 番地 1 及び回田町 269 番地 3

所有者：小平市

鈴木遺跡は、約3万2千年前から1万2千年前までに営まれた後期旧石器時代を主体とする複合遺跡です。旧石器時代遺跡としては、都内の遺跡の中でも特に広大な面積を持ちます。出土する旧石器の種類は多様で、包蔵量も豊富です。石器の変遷を旧石器時代最古の段階から縄文時代初頭まで連続して示すなど高い学術的価値が認められます。



資料館敷地

今回指定する小平市立鈴木小学校隣接保存区と鈴木遺跡資料館敷地は、遺跡範囲の中でも遺構・遺物の包蔵が特に濃密な区域で、地下に良好に保存されている部分です。



鈴木小学校隣接保存区

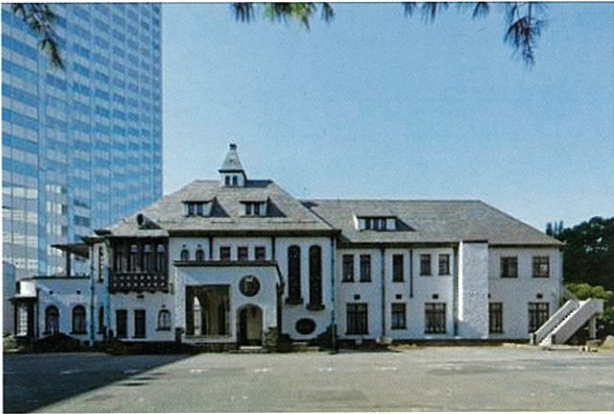
## II 既に指定しているものに追加して指定するもの

### 東京都指定有形文化財（建造物）

#### 旧李王家東京邸

所在地：千代田区紀尾井町1番地2  
所有者：株式会社西武プロパティーズ

旧李王家東京邸は、昭和5年に竣工した邸宅で、昭和初期の皇室建築の特性がよく表現されており、当時の意匠がよく保存されていることから、昨年指定しています。



外観（正面）

今回追加指定するのは、その東面北端1階部分で、ここは建物の正面に続く重要な部分ですが、上部に増築があり維持が難しいことから未指定でした。このほど増築部を撤去し、復元的保存を図ることとなったため、先に指定された部分に追加して指定します。



外観（正面）

#### 西ヶ原貝塚

所在地：（追加指定地）北区西ヶ原一丁目31番1号の一部  
所有者：独立行政法人都市再生機構

西ヶ原貝塚は、武蔵野台地東縁の台地上に位置し、南西側の旧谷田川の低地へ向かい開口する埋没谷をまくように馬蹄形に形成されている縄文時代の遺跡です。



追加指定区近景（南西より）

既指定地のある西側の貝塚は2枚の大規模な貝層から形成されているのに対し、追加指定地のある東側は、住居跡内の小規模な貝層の集合から成ります。



追加指定地断面

追加指定により貝塚形成の状況を東西の地点で保存することができます。

## III 指定を解除するもの

### 東京都指定天然記念物（植物）昭和38年指定

#### 大鳥神社のオオアカガシ

所在地：目黒区下目黒三丁目1番2号大鳥神社内  
所有者：宗教法人大鳥神社

本樹が枯死し、後継樹として育成していた挿し木も枯損したため。

都教育委員会の文化財公開の取り組み

# 旧前田侯爵邸 駒場本邸洋館の ボランティアガイド

## 建物正面



ようこそ旧前田邸洋館へ。ここは、加賀百万石で知られる加賀前田家第16代目当主の利為（としなり）侯爵の昭和4年に建てられた館です。

## 玄関ホール



玄関ホールと階段ホールとを合わせると50畳敷きくらいの広さがあるのですよ。16世紀の英国風チューダー様式で、幅広で平たいアーチが特徴です。

## 書斎



利為侯の書斎です。  
家具も当時のものです。

## 寝室



利為侯と菊子夫人の寝室で  
当時の家具が寄贈され復元

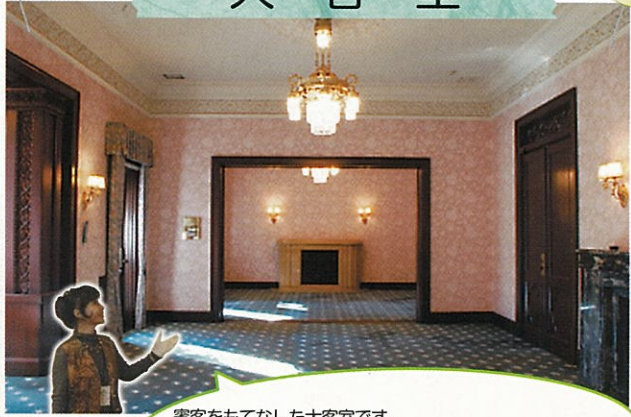
■旧前田邸洋館の見学について旧前田侯爵家駒場本邸（洋館）は、以下の日程で一般に公開しています。

場 所：目黒区駒場 4-3-55 駒場公園内 公 開 日：毎週水～日、祝日（年末年始を除く）  
公開時間：午前9時～午後4時30分まで（駒場公園の開園時間は午後4時30分ですのでご注意ください。）  
交 通：京王井の頭線駒場東大前駅西口下車 徒歩12分／小田急線東北沢駅又は代々木上原駅下車徒歩13分／  
東急バス渋谷駅から幡ヶ谷行き代々木上原停留所下車徒歩3分

旧前田侯爵邸洋館は、旧加賀藩主の前田家 16 代当主の利為侯が昭和 4 年に建てた建物です。このすばらしい建物を皆様により広く知っていただくため、ボランティアガイドが活動を始めたので御紹介します。



## 大客室



賓客をもてなした大客室です。  
マントルピースや天井の廻り縁の装飾が美しい部屋です。

こちらは古写真です。  
かつての大食堂は大きなテーブルが  
並べられていました。  
大きなマントルピースが見どころです。



## 大食堂

### ■経緯

東京都教育委員会では、都が所有している文化財建造物である旧前田侯爵家駒場本邸を積極的に活用し、その魅力を、広く都民にお伝えするための事業の充実を図っています。その一つとして、平成22年からガイドボランティアを育成し、活動の場を共に作っていく事業に取り組んでいます。

### ■育成から活動のプロセス

平成22年10月に、ボランティアとして旧前田邸の一般見学者に楽しくその魅力を伝えるため、ガイドの方法や内容を企画し、活動計画作りをしてくださる方を募集しましたところ、20余名の方が参加しました。旧前田邸の魅力を探るため、歴史、建造物（洋館・和館）及び庭について、専門家を招聘して、ガイダンスを6回開催し、毎回ワークショップを行って企画内容を掘り下げていきました。都からは旧前田邸に関する資料を提供し、ボランティアの方々はそれを吟味し、ガイド内容を検討していく作業を繰り返しました。平成23年3月からは、ボランティアの組織化を進めるとともに、具体的なガイド方法や内容をハンドブックとしてまとめていく作業に入りました。組織化については、まずボランティア活動の基本方針や活動内容を検討した上で団体規約を決め、「旧前田侯爵邸ガイドボランティアの会」が設立、会のロゴマークも決めました。また、ガイド方法、シナリオを作り、実地練習を行ってはシナリオを直すといった作業が繰り返され、合わせて古写真などを集めて、一般見学者がより楽しめる工夫を考えました。具体的なガイド内容も固まり、10月に都と協定を結び、いよいよ11月の東京文化財ウィーク（主催都教委）で、ガイドボランティアとしてデビューしました。9日間の活動でしたが、期間中1200人を超える来館者にガイド見学を楽しんでいただけました。その後、何度かガイドを試行した上で年間活動計画を検討し、毎週木、金、土曜日及び祝日にガイドを行うことを決め、平成24年1月から本格的に活動を開始しています。

### ■現在の活動状況

旧前田侯爵邸ガイドボランティアの会  
活動日 毎週木、金、土曜日及び祝日  
11:00～、14:00～  
来館者に無料でガイドを行っています。



# 今に伝わる郷土芸能

奥多摩町には現在でも多くの郷土芸能が伝えられています。中でも奥多摩湖の湖底に没した旧小河内村は狭い地域の中に多様な芸能が伝わり民俗芸能の宝庫と言われていました。今でも毎年演じられているものに鹿島踊り、獅子舞、車人形があります。町内全体を見てもササラ獅子舞をはじめとする郷土芸能が多くの地域に伝承され、大半の例祭は夏期に集中し、8月の週末は町内のどこかで必ず笛・太鼓の音が聞こえてきます。奥多摩町では今でも次のような郷土芸能が各地域で行われています。

Photo 境獅子舞

## ・ささら獅子舞

雄雌3匹の獅子頭を冠した3人の舞手が胴に太鼓をつけて舞い、4隅(あるいは6か所)に花笠を被ってささらを擦る「ささら擦り」、これに唄方、笛方、道化に囃子方などが加わって賑やかに興じられます。

当地の獅子舞は激しく動くものが多く、「舞う」というより「狂う」と言ったほうが合っているかもしれません。現在も14地区と奥多摩町では一番多く行われています。

## ・鹿島踊り

旧小河内村に伝わり、頭に冠(ユーラクと呼ぶ)をいただき女装した男性6人が笛や唄に合わせて優雅に踊るもので、古い歌舞伎踊りの遺風を伝える貴重な民俗芸能として高く評価されています。

## ・車人形

同じく旧小河内村に伝わり、3輪の付いた舟形のロクロ車に黒衣を着た人形遣いが腰をかけ、手足を巧みに使い、浄瑠璃の語りに合わせて人形を操ります。1人の黒子が1体の人形を操っています。

## ・神楽

奥多摩町で行われているのは里神楽で、2地区で行われています。獅子舞と同じく、神社の祭礼に「村内安全」や「五穀豊穰」を祈念して上演されます。しかし、旧小河内村に伝わる花神楽は担い手の減少により伝承が難しくなっています。

## ・囃子

大太鼓1・締太鼓2・笛1・鉦1の5人で構成され、神社の舞台や山車で演奏されます。町内の2地区で行われ、地区内を練り歩きながら賑やかに、そして時には滑稽も演じられます。

これら多様な郷土芸能も人口減少による後継者不足、高齢化などが相まって継承・保存はどの団体も苦慮しています。町全体で支えながら、笛や太鼓の音、人々の歓声がいつまでも消えないことを願っています。

## 奥多摩町郷土芸能一覧

### 獅子舞

| 地区名 | 名称       | 神社名          | 開催日         | 指定 |
|-----|----------|--------------|-------------|----|
| 川井  | 八雲神社獅子舞  | 八雲神社         | 5月5日        | 町  |
| 大丹波 | 青木神社獅子舞  | 青木神社         | 8月最終日曜日     | 町  |
| 棚沢  | 棚沢獅子舞    | 熊野神社         | 8月第3日曜日     | 町  |
| 白丸  | 元栖神社獅子舞  | 元栖神社         | 8月第3日曜日     | 町  |
| 海沢  | 海沢獅子舞    | 海沢神社(寿楽荘前広場) | 8月第1日曜日     | 町  |
| 大氷川 | 奥氷川神社獅子舞 | 奥氷川神社        | 8月第2日曜日     | 町  |
| 小留浦 | 山祇神社獅子舞  | 山祇神社         | 8月第4日曜日     | 都  |
| 日原  | 一石山神社獅子舞 | 一石山神社        | 9月第1日曜日     | 町  |
| 栃久保 | 根元神社獅子舞  | 根元神社         | 8月第4日曜日     | 町  |
| 境   | 白髭神社獅子舞  | 白髭神社         | 8月16日       | 町  |
| 原   | 原獅子舞     | 小河内神社(温泉神社)  | 9月第2日曜日     | 都  |
| 坂本  | 坂本の獅子舞   | 小河内神社(金御岳神社) | 9月第2日曜日     | 都  |
| 峰谷  | 峰獅子舞     | 花入神社         | 9月第3日曜日(予定) | 都  |
| 川野  | 川野獅子舞    | 小河内神社(箭弓神社)  | 9月第2日曜日     | 都  |

### おはやし・神楽・車人形・鹿島踊り・等

|     |          |           |            |   |
|-----|----------|-----------|------------|---|
| 小丹波 | 小丹波のおはやし | 熊野神社      | 4月29日      |   |
| 南氷川 | 南氷川のおはやし | 羽黒三田神社    | 8月第2日曜日と前日 |   |
| 海沢  | 神庭の神楽    | 山祇神社      | 8月第1土曜日(夜) | 町 |
| くき沢 | 鹿島踊り     | 小河内神社     | 9月第2日曜日    | 国 |
| 川野  | 川野の車人形   | 川野生活館     | 3月5日       | 都 |
| 小留浦 | 小留浦の花神楽  | 小河内神社     | 未定         | 都 |
| 留浦  | ヨイサカ踊り   | ※現在は途絶えがち |            |   |

※指定区分の国は国指定、都は東京都指定、町は奥多摩町指定のそれぞれ無形民俗文化

※日程は天候等の事情により変更になることがあります。

上演場所、時間につきましては下記にお問い合わせください。

「奥多摩水と緑のふれあい館」(TEL 0428-86-2731)

# 小笠原村

## 1 『日本の南方洋上に位置する海洋島』

小笠原村の行政管轄区域『小笠原諸島』は、日本列島から約1,000km南方の太平洋上に散在する島々の総称で、殆どが亜熱帯気候に属しています。東京から約1,000km南方の洋上に、南北に約400kmに亘り連なる小笠原群島(賀島、父島、母島各列島)、硫黄列島((火山列島)北硫黄島、硫黄島、南硫黄島)及び3つの孤立島(西之島、日本の最南端沖ノ鳥島、最東端南鳥島)から成り、日本の排他的経済水域の約1/3を占める広大な海域を占めています。

## 2 『世界自然遺産に登録』

『小笠原諸島』は、大陸と一度も陸続きにならなかったことのない海洋島の環境下であるため、小面積の中で、適応放散により生物学的に多様化し、種分化した固有種が多く、海洋島独特の進化の過程を垣間見ることができます。

適応放散による多様な進化、種分化は、植物、陸産貝類に多く見られ、特に陸産貝類に至っては、進化の初期段階にあって、生物学的多様化、種の分化が進行している点でも、地球上にかけがえのない場所となっています。

『小笠原諸島』は、世界自然遺産登録の基準のうち、『生態系』について評価され、平成23年6月29日、世界自然遺産に登録されました。

## 3 天然記念物 『小笠原南島の沈水カルスト地形』

父島の南東約1kmの海上に位置する南島の沈水カルスト地形は、海域も含め天然記念物(地質鉱物)であり、世界自然遺産の区域の一部に登録されています。南島一帯の地形群は、約4000万年前から2000万年前に海底に堆積した石灰岩が、長い年月の間で海水面の昇降が繰り返されることで形成された典型的な沈水カルスト地形で、小笠原諸島の成り立ちを語る上でも重要です。

眼前に広がる沈水カルスト地形、扇池、陰陽池は、遠く見はるかす海洋を背景に、自然の造形美が醸し出され、陽光に映え、鮮やかに彩られた姿は、訪れる人々を魅了して止みません。

## 4 江戸時代の漂着、巡検で目にした天然記念物

江戸時代前期寛文9年(1669)、阿波国(徳島県)の廻船が、紀州(和歌山県)で蜜柑を積み、江戸へ向かい出航しました。遠州灘に差し掛かったところ南東へ押し流され、翌年、小笠原諸島の母島に漂着しました。一行は、小船を建造し、父島から、賀島を経て、八丈島中之郷に到着、伊豆洲崎(静岡県下田市須崎)に奇跡の帰還を果たし、下田奉行所へ届け出ました。

幕府は、母島漂着の報告を受け、大型航洋船、唐船造御船を建造し、延宝3年(1675)、長崎の嶋谷市左衛門を船頭とする無人島(小笠原島)の巡検を行いました。父島、母島、南島、兄島、弟島を調査し、緯度を測り地図を作成、動植物、鉱物を採集し、幕府に報告しています。地図は、林子平の『三国通覧図説』中、無人島(小笠原島)の図の元となり、やがて、欧米各国に存在が知られるようになりました。

嶋谷市左衛門は、日本の大航海時代、御朱印船時代の最後を生

きた船頭で、天文地理、南蛮天文航法にも精通し、航海術の書『按針之法』を残しています。

現在、天然記念物(地質鉱物)に指定されている南島に、一行が一泊したことは、当時の科学への関心の高さが想像され、歴史の妙を垣間見るようでもあります。報告の中には、特別天然記念物メグロ、天然記念物アカガシラカラスバト、オガサワラオコウモリも含まれていました。

小笠原諸島唯一固有の哺乳類、フルーツバットであるオガサワラオコウモリは、19世紀、小笠原諸島が捕鯨船の寄港地として注目され、幕末、異国船来航に至った後も、様々に報告されています。

## 5 東京都有形文化財(歴史資料) 『小花作助関係資料』

文久元年(1862)、咸臨丸での幕府2度目の調査で来航した外国奉行水野筑後守忠徳率いる調査隊の中に、蕃書調所絵図調出役で、絵図引兼蘭方医師として派遣された宮本元道が絵図を描いています。

外国奉行支配定役小花作之助(明治維新に至り作助と改名、後の内務省初代小笠原島出張所長)は、伊豆国附島々取締並小笠原島開拓御用を命じられ、水野筑後守忠徳に随行しました。作之助が、元道の絵図を模写して、漢詩を詠んだ『小笠原嶋図絵 附録一卷』には、南島の絵図等が、驚きの眼を持って描かれており、東京都指定有形文化財(歴史資料)『小花作助関係資料』170点(村に子孫から寄贈)のうちの1点として指定されています。

江戸時代2度に亘る巡検の報告の中で、小笠原群島の自然に驚嘆し、科学の眼で観察されていたことが、注目されています。

小笠原諸島の誕生の位置、生い立ちを辿る中で、動植物のみならず、地形、地質鉱物、天空、海洋と、あらゆる自然が小笠原固有のものであり、希少性に富み、学術的に貴重な価値を有していることが、解明されてきました。この希少性、高い学術的価値を有する小笠原諸島の自然を未来に引き継いで行くために、継続的な研究、調査、評価、保全管理に向けて、国、都、村、各研究機関、団体等が連携し取り組みが進められています。



鯨池

### お問い合わせ

小笠原村教育委員会  
〒100-2101 東京都小笠原村父島宇西町  
電話 04998-2-3117 FAX 04998-2-3119

# 東日本大震災に伴う東京都の文化財被害状況について

平成23年3月11日の東日本大震災と津波及びその後の余震により多くの方々がお亡くなりになり、家屋等に甚大な被害がありました。このたびの東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災では文化財にも大きな被害がありました。全国では、国宝5件、特別史跡6件、特別名勝5件など25都道県で743件（平成23年11月現在 重複指定あり）の被害がありました。岩手県陸前高田市の名勝高田松原は国の名勝に指定された景勝地でしたが、「奇跡の一本松」と呼ばれることとなった1本の松を残してほぼ全ての松林が流出してしまったことや、史跡・名勝の宮城県大崎市の「旧有備館および庭園」の主屋崩壊などが報道されました。

東京都においては、東北地方に比べると被害の程度は小さかったものの50件の国指定文化財の被害がありました（平成24年3月現在 重複指定・登録文化財含む）。また、都指定文化財では34件の被害がありました（平成24年3月現在）。

東京都内の文化財被害件数

| 種別     | 国指定文化財 | 都指定文化財 |
|--------|--------|--------|
| 重要文化財等 | 建造物    | 20     |
|        | 彫刻     | 1      |
|        | 考古資料   |        |
|        | 歴史資料   | 2      |
|        | 有形民俗   | 2      |
| 史跡(特史) | 10(3)  | 5      |
| 名勝(特名) | 6(3)   | 3      |
| 天然記念物  |        | 2      |
| 都      | 旧跡     | 8      |
| 国      | 登録建造物  | 14     |
| 被害数    | 50件    | 34件    |

国指定の種別件数は重複指定を含むが総数は物件数です。特別史跡、特別名勝は（ ）で内数です。

主なものを挙げると、重要文化財の建造物では瑞聖寺大雄宝殿、増上寺三解脱門、旧江戸城外桜田門などで被害がありました。漆喰壁の亀裂や部分崩落、瓦などの落下程度ですが、外桜田門では門の開け閉めができなくなりました。旧岩崎家住宅などの洋館でも壁に亀裂が入るなどの被害がありました。東京都指定を含めても全体的には軽微でした。

彫刻では横山大観記念館の木造不動明王立像の足首が破損しました。

重要有形民俗文化財の江古田の富士塚と豊島長崎の富士塚では、築山に亀裂が入り、石碑等がずれるなど、大きな被害がありました。豊島長崎の富士塚は、崩落の危険もあり、修復が急がれています。

六義園などの文化財庭園では、築山の亀裂や東屋の柱などがずれるなどの被害のほか、池護岸の一部崩壊や石橋のずれなどが発生しました。史跡湯島聖堂では、外周塀の瓦が落下し、史跡常盤橋門跡では石垣が崩れかかりました。

今回の被害で目立ったのは、国・都史跡、旧跡の墓や文化財庭園の燈籠の倒壊です。燈籠は上部に火袋や笠が乗るため、不安定であったことが大きかったようです。国史跡彦根藩主井伊

家墓所では31基、都史跡細川家墓所では34基の燈籠が倒壊しました。墓石の倒壊はありませんでしたが、ずれたものがありました。



小石川後楽園 震災状況 涵徳亭「桃山型燈籠」(燈籠倒壊)



文化財庭園石造物補修工事「蓬莱島」

このように、東京都内の文化財の被害は東北各県に比べれば比較的軽微でしたが少なからずあり、それらは所有者等の努力により修復作業が行われています。被害規模の比較的大きかった湯島聖堂や常盤橋門、豊島長崎の富士塚などの修復工事はまだ続いています。被災地においても一部の文化財では復旧工事が始まっています。地域の文化財の復旧が心のよりどころになると考えています。一日も早い被災地の復旧を祈念します。



小石川後楽園 涵徳亭「桃山型燈籠」(復旧後)

## 編集後記

今年度は3件の文化財が新しく指定されました。また、今号では旧前田邸洋館のボランティアガイドが文化財の案内・解説を行う活動を御紹介しています。文化財を長く護り受け継いでいくことに加え、その魅力を伝え広めていくことの意義を感じます。これからの暖かい季節に向けて、文化財めぐりを楽しんでいただければ幸いです。

平成24年3月31日

発行 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03(5320)6862